

ワケあり伊豆半島⑧

ブナの原生林に 身をゆだねて

～天城トレッキング～

伊豆を代表する天城は貴重な自然が残されている別天地です。

天城火山は約80万年～20万年前に噴火を繰り返し、

伊豆半島の骨格をつくった陸上大型火山。

山中にはブナ、ヒメシャラなどの天然林が広がり、

アマギツヅジなど固有種が彩りを添えます。

① 八丁池

断層によって
つくられた池

断層によってできた窪地に水がたまつた断層湖。標高1,173mの山上にあり、その美しさから「天城の瞳」と言われています。モリアエガエルの産卵地。周辺は国立公園の特別保護区に指定されています。周辺のブナ林は、林野庁が「八丁池ブナ群落林木遺伝資源保存林」に定めており、樹齢300年を超えるブナの巨木、美しいヒメシャラ林が見られ、貴重な森として大切に守られています。



② カワゴ平



約3200年前に発生したカワゴ平火山の噴火は伊豆東部火山群の中で最大規模で、火山灰は琵琶湖まで届きました。大噴火は直径約1kmの火口と、幅4km、厚さ50m以上の溶岩台地を形成しました。歳月を経て、今はブナ、ヒメシャラ、マメザクラなどの原生林やコケにすっぽりと覆われています。



天城山麓は良質のわさび产地

この地域には年間3,000mm以上の雨が降り、透水性の高い火山堆積物でろ過されます。清らかで適温の湧水が出る山すそが栽培適地となっており、わさびはジオの恵みといえます。



カワゴ平には
約3200年前の噴火の
噴出物である、黒くてツヤツヤの
黒曜石が沢山あります
ジオの恵み！※拾ってはダメ



③ 滑沢渓谷



④ 鉢窪山

ガイドツアー限定

天城峰の北側にある狩野川の支流。深い樹林帶の中で溶岩の上を水が滑り落ちています。滑沢火山の噴火で谷を流れた溶岩です。渓流沿いに遊歩道をたどると、噴火に伴って発生した「ラハール」(土石流)の地層や、天城山中で最大の太郎杉があります。太郎杉は樹高53m、推定樹齢450年の巨木で静岡県天然記念物に指定されています。

⑤ 昭和の森会館

天城のことを学ぶならここ。道の駅「天城越え」の一角にあり、森の情報館、伊豆近代文学博物館、ジオパークビジターセンターが整備されています。天城の動植物、農林業(ワサビ・シイタケ栽培など)や、井上靖、川端康成ら伊豆ゆかりの文人の資料が展示されています。毎月第2土曜日にはジオガイドが常駐しており、館内案内やミニツアーに対応しています。

モデルコース

「天城の瞳」を目指して

6km／徒歩で5時間

八丁池口→見晴らし台

→①八丁池→八丁池口

修善寺駅または河津駅からバスで70分、八丁池口下車。



ブナ原生林の生命力を感じる

18km／徒歩で8時間

八丁池口→②カワゴ平

→筏場新田

修善寺駅または河津駅からバスで70分、八丁池口下車。



太郎杉を目指して渓谷散策

6km／徒歩で2時間

⑤昭和の森会館→③滑沢渓谷

→竜姿滝→太郎杉→⑤昭和の森会館

修善寺駅からバスで40分、昭和の森会館下車。



スコリア丘に登ろう

5.8km／徒歩で2時間

※コースマップや道標が未整備なので
ガイドの案内が必要。

⑤昭和の森会館→④鉢窪山

→⑤昭和の森会館

修善寺駅からバスで40分、昭和の森会館下車。



天城の樹林に包まれた猫越川沿いの温泉
湯ヶ島のテルメいづみ園(伊豆市湯ヶ島2796)

Aがおすすめ。

道の駅天城越え⑥

では、わさび漬けを
体験することができます。



注意事項

自然保護と安全のために

ルールとマナーを守ってください。

●動植物、岩石の採集は禁止です。

●ごみは持ち帰りましょう。

●キャンプ、たき火は禁止です。

●余裕を持った計画を立てましょう。

●コースを外れてはいけません。

●危険な動植物(スズメバチ、マムシ、ヤマカガシ、ツタウルシなど)に注意しましょう。

●携帯電話のつながらない場所があります。

●水分は多めに持つて行きましょう。

(補給できるところがありません)

●地図は必携です。